

2023 年 1 月 27 日

各 位

会社名 モーニングスター株式会社
 (コード番号 4765)
 (上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)
 代表者 代表取締役社長 朝倉 智也
 開示責任者 常務執行役員管理部長 小川 和久

2023 年 3 月期の業績予想 親会社株主に帰属する当期純利益の大幅増益 および特別利益、特別損失計上に関するお知らせ

(親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比 3.9 倍、14 期連続の増益、10 期連続の過去最高益)

2023年3月期(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の連結業績について、下記のと通りの予想となりますので、お知らせいたします。

記

1. 当期の連結業績予想 (2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

(1 株当たり連結当期純利益を除き 単位: 百万円)

	連結売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主 に帰属する 当期純利益	1 株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	未定	未定	未定	未定	未定
今回修正予想(B)	9,000	2,150	2,500	5,700	63.56 円
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考) 前期連結実績 (2022 年 3 月期)	8,123	2,129	2,403	1,454	15.61 円

(参考 前期比較)

(単位: 百万円)

	前期連結実績 (2022 年 3 月期)	当期連結予想 (2023 年 3 月期)	増加額	増加率 増加倍率
連 結 売 上 高	8,123	9,000	877	10.8%
連 結 営 業 利 益	2,129	2,150	21	0.9%
連 結 経 常 利 益	2,403	2,500	97	4.0%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	1,454	5,700	4,246	3.9 倍

※ 連結売上高は、11 期連続の増収、4 期連続で過去最高の売上となる見込です。
 連結営業利益は、3 期連続増益、3 期連続最高益となる見込です。
 連結経常利益は、14 期連続の増益、12 期連続の過去最高益となる見込です。
 親会社株主に帰属する当期純利益は、14 期連続の増益、10 期連続の過去最高益となる見込です。

2. 業績予想の理由

本日開示いたしました「Morningstar, Inc. とのライセンス契約終了に伴う「モーニングスター」ブランドの返還と対価 80 億円の受領と特別利益計上のお知らせ」のとおり、当社は、Morningstar, Inc. との間のライセンス・アグリーメントを終了して、『モーニングスター』ブランドを、対価 80 億円でモーニングスター・インクに返還することとなりました。これにより、親会社株主に帰属する当期純利益が前期に比べて 30% 以上増益となることが確実となりましたので、業績予想を開示いたします。

3. 特別利益の計上について

前述「2. 業績予想の修正の理由」のとおり、『モーニングスター』ブランド返還による 80 億円の受領に伴う収益が計上されます。

長期前払費用に計上しているロイヤルティの未償却残高の除却、上記の一連の取引に係る弁護士費用その他のアドバイザリー費用、商標・ロゴ等のコンテンツの変更に要する費用、本組織再編に要する費用等を差し引いた 7,940 百万円程度の特別利益が計上される見込です。

4. 特別損失の計上について

財政状況の健全化のために、以下の資産の売却損の計上、減損処理、除却処分などを行うことで、2023 年 3 月末までに、特別損失が 1,380 百万円生じる見込み（注）です。

(1) 保有する投資有価証券の売却損の計上

2023 年 3 月末までに、保有する投資有価証券を売却し、4,045 百万円（注）の売却収入を得る予定です。それに伴い投資有価証券の売却損が生じる見込です。

(2) 「のれん」の減損処理

イー・アドバイザリー株式会社が計上している「のれん」の一部を、連結資産を健全化するために、現時点における収益性を反映した金額まで減損処理いたします。

（注）2022 年 3 月 31 日までに、投資有価証券を売却した時点の売却損などで、特別損失を計上するため、金額は未確定です。2022 年 12 月 31 日時点の見込額を記載しています。

5. 財政状態の大幅向上について

(1) 利益剰余金の増加について

2023 年 3 月期に、親会社株主に帰属する当期純利益が 57 億円計上されることにより、2023 年 3 月期末の連結利益剰余金は 86 億円になると見込まれ、2022 年 3 月期末比約 2 倍に増加いたします。

単体の利益剰余金も同様に大幅に増加しますので、株主の皆様への株主還元の出資が大幅に増加することになります。

(2) 現金預金の増加について

前述「2. 業績予想の修正の理由」のとおり、『モーニングスター』ブランド返還による 80 億円を受領し、前述「4. 特別損失の計上について(1)保有する投資有価証券の売却損の計上」のとおり、約 40 億円の投資有価証券の売却収入が見込まれます。

これらにより、約 120 億円の現金預金が増加いたしますので、2023 年 3 月期末（2023 年 3 月 31 日）の現金預金は 150 億円程度になると見込まれ、2022 年 12 月末の 24 億円から約 6.3 倍に増加し、総資産の 68%程度が現金預金となる見込みです。

この潤沢な資金を用いて、次期（2024 年 3 月期）以降に、M&A やシステム投資など、事業規模拡大の施策を図っていきたいと考えております。

特に、アセットマネジメント事業の強化を図るために、国内外のアセットマネジメント会社の買収および業務提携に積極的に資金を活用し、併せて、SBI グループの有するフィンテック、AI やブロックチェーンなどの技術に投資を行い、一層の企業価値拡大に務めてまいります。

（連結経常利益の推移、親会社株主に帰属する当期純利益の推移 次ページ参照）

以上

【本件に関するお問い合わせ先】**

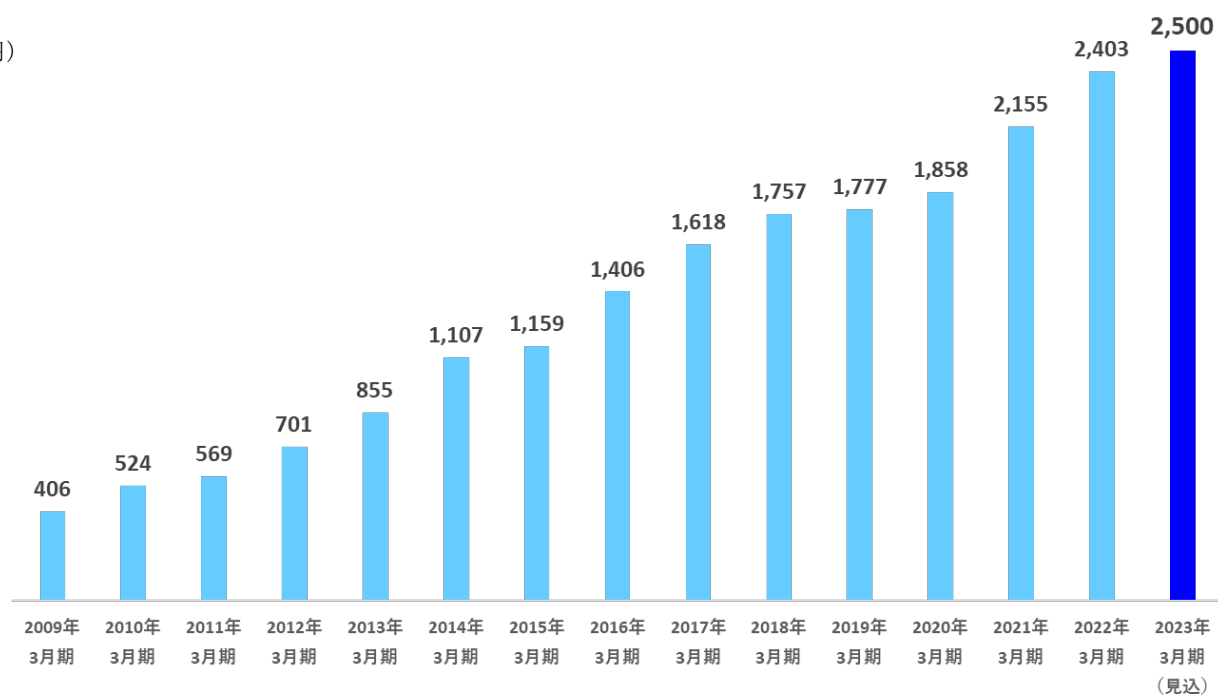
モーニングスター株式会社 : <http://www.morningstar.co.jp/> 管理部

電話 : 03 (6229) 0810 メール : mstar@morningstar.co.jp

連結経常利益の推移

14 期連続の増益、12 期連続の過去最高益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益の推移

14 期連続の増益、10 期連続の過去最高益

(百万円)

